

## 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表:平成31年3月12日

事業所名 放課後等デイサービス すてーじ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	0	スヌーズレンルーム・屋上の利用などスペースは確保できている
	2	職員の配置数は適切であるか	5	5	0	加配がとれるほどの職員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	0	0	エレベーター、ユニバーサルデザインのトイレ等館内はバリアフリーとなっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	3	0	正職員は全員5つのワーキンググループに属し5年後を見据えた中長期計画を立て、半期に1回振り返り、目標設定の見直しを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4	1	アンケート調査を実施し、改善が急務な内容については改善を行った。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	5	3	今後ホームページで開示する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	3	次年度第三者評価実施予定
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0	パート職員を含めて年1回以上の外部研修に参加する機会を設定している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0	0	職員主体で日々の振り返りや会議で話し合い、特定の職員の主観的なアセスメントにならないようにしている。必要に応じて保護者の協力を得てS-M社会生活能力検査を活用しアセスメントを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	4	2	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1	0	毎月1回プログラム会議を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	0	個別支援計画に沿ったプログラムを設定している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	6	0	外出やクッキングなど時間が必要なプログラムに関しては土曜日や長期休暇中に設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	0	個別支援計画に沿ったプログラムを設定している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	0	正職員のみで午前中に打ち合わせを行い、全スタッフが集まった時に再度打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	0	18時～18時30分の間に振り返りを行っている。その日不在の職員はプリントアウトされた支援記録を後日閲覧している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	振り返り時の特記事項は必ず記録するようにしており、モニタリング時に記載、個別支援計画へとつなげている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1	0	半年に一度モニタリング、支援計画検討会議を全職員で行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	3	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	4	0	児童発達支援管理責任者又は担当の職員が参加するようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	0	0	毎月の利用予定表を学校にfaxし、相互に確認を取り合っている。変更点についても都度連絡を行っている。送迎に行くスタッフの顔写真を学校に渡している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	4	0	医師の指示書等はある
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	5	0	書面での情報はもらっている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	6	0	まだ卒業生が出ていない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	3	0	必要に応じて児童発達支援センターより就学前の様子や取り組み等について情報を得ている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	6	2	学童のイベントに参加
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	4	0	児童専門部会や災害部会等都度参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1	0	送迎時に報告している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	6	2	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1	0	個別面談時に実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1	0	必要に応じて福祉事務所や地域生活支援センター等、関係機関と連携を図り、必要なサービスに繋がるよう支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	4	1	年に1度保護者説明会を行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	3	1	フェイスブックで発信

	35	個人情報に十分注意しているか	10	0	0	Facebookや開放の写真掲載については事前に調査票にて確認を行っている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0	写真、絵カード、PECSを活用している。保護者に対しては必要に応じて別紙で分かりやすくまとめる、個別で説明を行う等している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	6	0	スヌーズレン体験や屋工開放のイベントを行った。地域生活支援センター主催の保護者相談会の会場の貸し出しを行っている。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2	1	各種マニュアルは策定し、必要に応じて変更を行っている。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1	0	年に2回避難訓練を実施している。全職員定期的に救命救急の研修に参加している。
		40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	2	1	外部や法人内研修で実施
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	3	2	契約時に説明している。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2	2	ご家族向けに食物アレルギーアンケートを行った。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0	ヒヤリハットを作成し、全職員で共有・今後の対策について検討している。ファイリングいつでも閲覧できるようにしている。		